

(陳受30第12号)

義務教育終了後から40代までの市独自の健康診断の実施の検討を求めることに関する陳情

受理年月日

平成30年11月26日

陳情者

陳情の要旨

義務教育終了後から40代までの市独自の健康診断の実施を検討してください。
若い人は、非正規雇用で働く人が増加し、残業代の出ない長時間労働や休日も不定期など、過労死と隣り合わせの働き方が横行しています。

こういう状況で、定期的な健康診断を受けていない場合、病気の発見がおくれ悪化するおそれがあります。

武蔵野市のホームページには、若年層を対象とした健康診査を実施してほしいとの質問に、40代からの特定健康診査が紹介されています。

武蔵野市は若い人に人気があり、20代～40代までの人口は、全人口の約29%です。

近隣自治体などでは、国民健康保険被保険者を対象とした18歳以上の自治体独自の健診を行っているところもあります。

武蔵野市でもぜひ、若い人たちを大切にする施策として、御検討ください。

また、成人式などでの、健康診断受診のアピールなども御検討ください。